

臨床研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
心臓血管外科学

【研究課題名】

冠動脈バイパス術における内視鏡的大伏在静脈グラフト採取手技の
技能評価とシミュレーショントレーニングに関する多施設共同研究

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～2018年3月31日

【研究の意義・目的】

- ①冠動脈バイパス術における内視鏡下大伏在静脈採取手技(Endoscopic Saphenous Vein Harvesting :EVH)を技能評価ツールを用いて評価し、その妥当性を検討する。
- ②EVH技能向上を目的としたシミュレーショントレーニングの有効性を検討する。

【研究の方法】

技能評価ツールの妥当性の検討を観察研究により行います。
研究予定期間に当該施設で実施される冠動脈バイパス術における EVH 症例を録画させていただきます。評価者2名が録画データを OSATS, GOALS を用いて技能評価を行います。同時に参加者の年齢、性別、卒後経験年数、EVH 症例経験数、シミュレーショントレーニング時間等を収集致します。

【研究組織】

研究代表者 大阪市立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学
教授 柴田 利彦

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 柴田 利彦
住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
電話 06-6645-3980
FAX 06-6646-3071
E-mail daisukey03@gmail.com